

2025（令和7）年度 ホームSKY地域連携推進会議 議事録

事業所名	共同生活援助事業 ホームSKY		
開催日時	2025（令和7）年12月11日（木）13：45～15：30		
開催場所	多摩市民館 5階学習室		
出席者	構成員	人数	備考
	入居者	1	
	入居者ご家族	1	
	地域関係者	1	登戸地区 民生委員児童委員協議会 会長
	福祉に知見を有する方	1	株式会社 アルトピアーノ 代表
	経営に知見を有する方	1	NPO法人 ピアたちばな 理事
	区担当職員	-	多摩区役所障害者支援係（見学のみ参加予定）
	事業所職員	5	所長、主任、ユニット担当職員
内容	法人職員	1	ゆりあす職員
	1. 出席者自己紹介		
	2. 共同生活援助事業（グループホーム）とは？		
	3. ホームSKYの特徴		
	1) 定員		
	2) 拠点、ユニット数		
	3) 入居者状況		
	4) ホームSKYでの支援		
	5) 職員体制		
	6) 特徴		
	7) 令和7年度の取り組み		
	4. 経営状況報告		
	5. 事故、ヒヤリハット、苦情等報告		
	6. 各拠点報告		
	7. 構成員近況報告		
質疑 意見交換	・ホームの待ち状況に関する質問 → 月1～2件の問い合わせあり、募集をすると応募を多数いただく		
	・サテライトが認められる条件についての意見交換 → 部屋の広さや拠点からの距離などいくつかの決まりがある		
	→ 近隣で空き部屋があった際、サテにどうか？と思質問		
	→ 入居者の方がホームを卒業される時の物件探しで大変厳しい状況があり、いい情報を頂いた		
	・ホーム予算について、すべて他の建物を借りて運営している場合、大変厳しい予算であることがわかる。		
	市の職員の方などにも会議に参加してもらい、実情を知ってもらえるとよい		
構成員より 近況報告 情報交換	・若年性認知症の方の行き場がない事をきっかけに、ベーカリーカフェ（ぴあーのぴあーの）を始めた。開所から半年たち、他の障害の方も含め6名の方が在籍されている。		
	・地域で新しく介護施設やアルコール関連の居場所づくりを始められる方が多く、相談を受ける機会が増えている。		
	・民生委員としていろいろな研修に行くが、（障害分野の）グループホームの事をわかっている人はほとんどいないのではないかと思う。今日のような話を是非他の民生委員にも聞いてほしい。		
	・地域の方に福祉の社会資源を知ってもらう機会として「ふれあう訪問ミニバスツアー」を行っている。今回は「ぴあーのぴあーの」さんにも訪問させていただく予定		
	・家族がお世話になっている。家にいる頃は母親も含め大変だった。近隣との関係も大変だったが、病気のことを伝えられるようになってから楽になった。家で家族が支えるのは難しく、グループホームは必要。ホームが運営されていくためのお金も必要。		